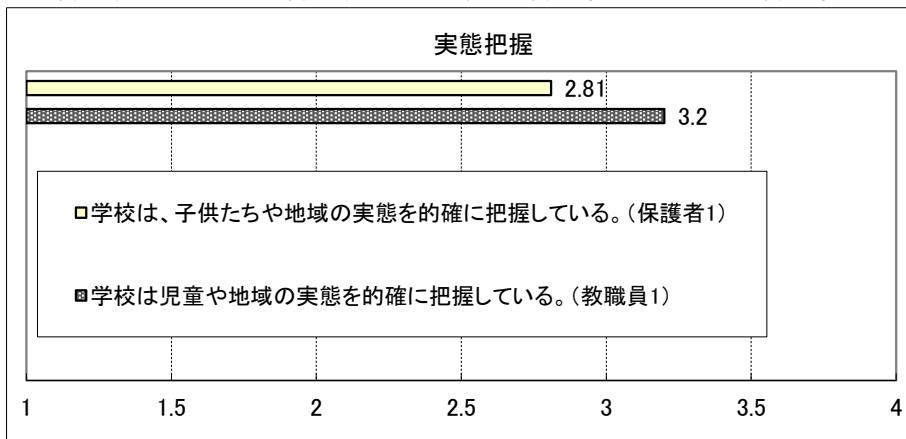


(4) 保護者・教職員・児童アンケート結果の比較

## R4年度 保護者、教職員、児童の意識の平均値の比較

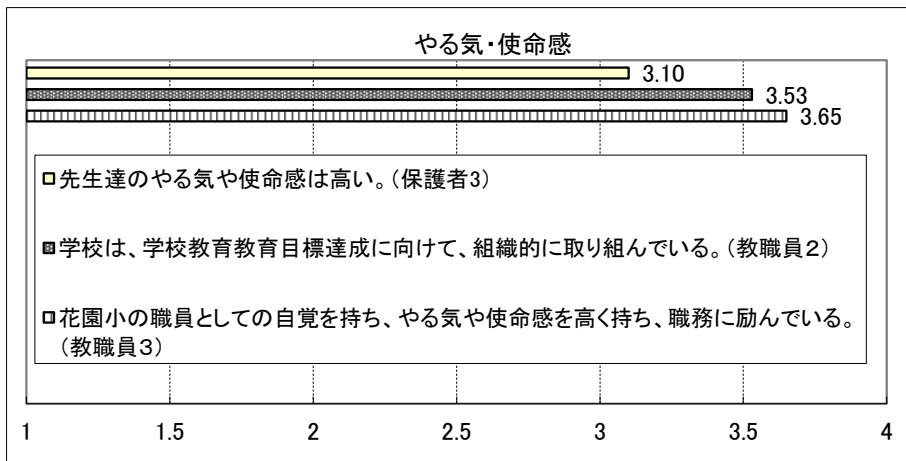
※そう思う…4点 ややそう思う…3点 あまりそう思わない…2点 そう思わない…1点で換算した平均値



**【考察及び対策】**

○昨年度との比較では、平均値は保護者が0.01ポイント上がり、教職員が0.08ポイント下がっている。保護者と教職員とは0.39ポイントの差になり、両者の意識の差は昨年より縮まった。

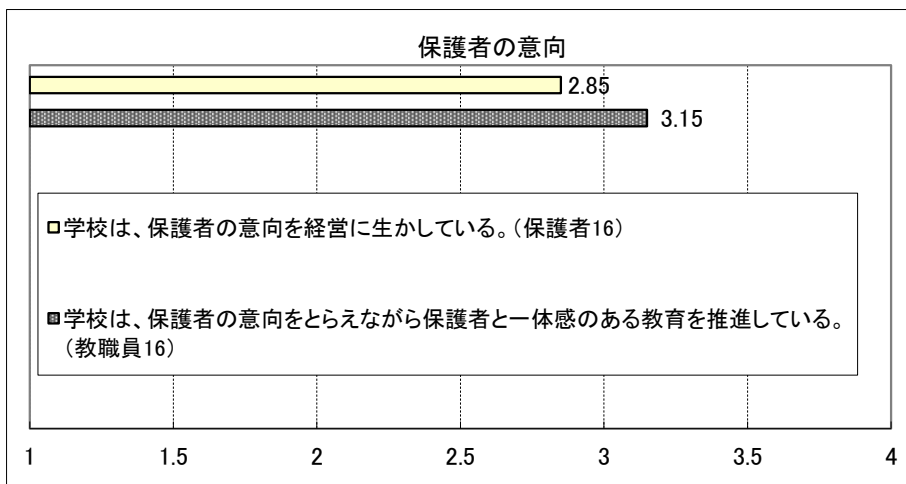
●保護者の評価はわずかに上がり、教職員の評価はわずかに下がった。子供たちの実態を的確に捉えようとする姿勢は、今後も大切にしていきたい。これまで同様、子供たち一人一人に寄り添い、教育的愛情を持って接していく必要がある。



**【考察及び対策】**

○保護者の評価は昨年度と変わらず、教職員の評価は若干減少しているが、高い位置で推移している。教職員に比べて、保護者の方が低くはあるが、基準点の3ポイントを超えているので、ある程度の評価をもらっているようだ。

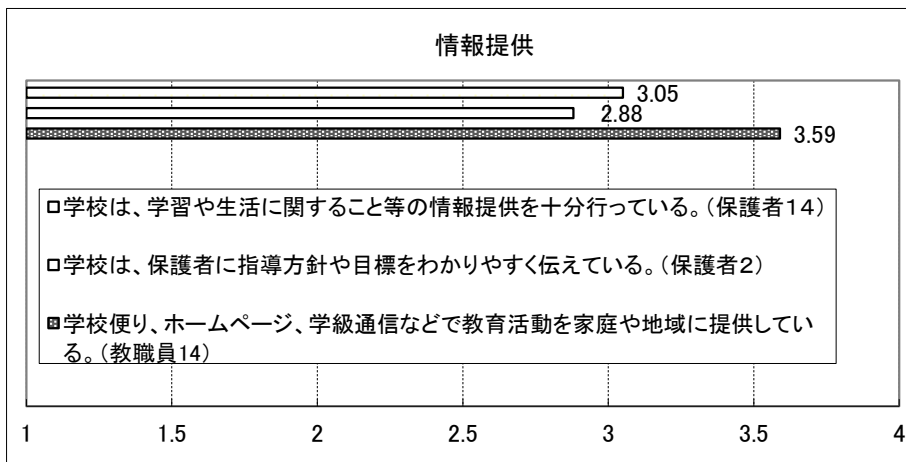
●教育行動指標「認め、ほめ、励まし、伸ばす」をもとに、熊本県教職員像を再度確認し、教職員としての基本的資質と専門性を高めていく。学校のグランドデザイン等を保護者に分かりやすく伝えながら、地域と共にある学校を目指したい。



**【考察及び対策】**

○昨年度より、評価が保護者は0.03ポイント、教職員は0.17ポイント上がった。両者の評価に大きな差は無く、共に理解し合っている現状が伺える。

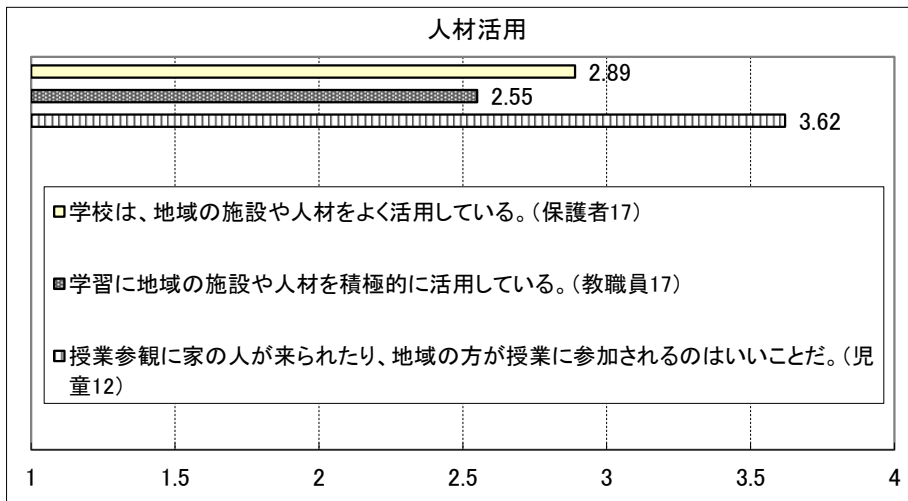
●今年度は、コロナ禍の影響があったものの、保護者との連携を図る機会として授業参観や運動会などの行事を実施することができた。今後、更に新しい形を模索しながら、子供のがんばりを伝える機会を増やす工夫が必要である。



**【考察及び対策】**

○保護者の評価が両項目とも昨年に比べると微減したが、基準となる3ポイントに近い。教職員の評価が昨年比0.15ポイント上昇している。多少、両者の間に差があるということは、保護者の期待に応えるほどの情報提供には至っていないということだろう。

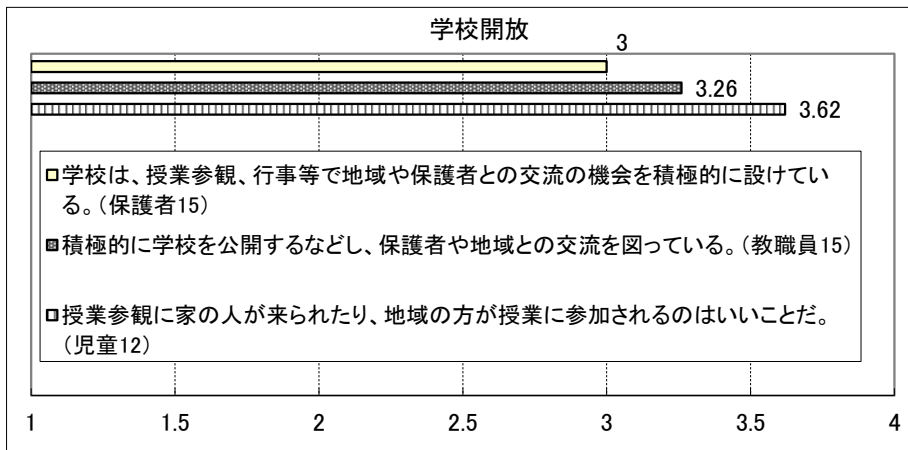
●学校ホームページや安心安全メールを活用した情報の提供および学校便り、学年便り、学級通信等を活用した情報提供を更に充実させていく必要がある。また、今後更に内容を工夫し、役立つ情報の提供につなげていきたい。



**【考察及び対策】**

○保護者、教職員、児童共に昨年度とほぼ変わらなかった。コロナ禍で地域人材の活用があまりできていない現状なので、全体として数値が低い。

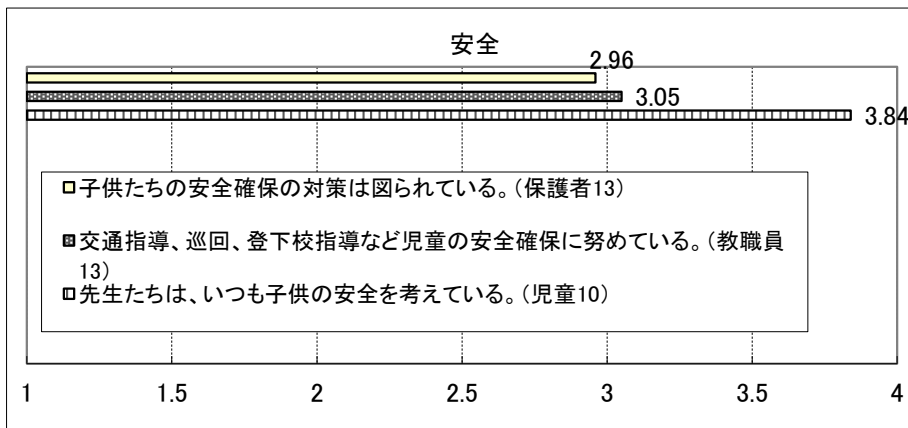
●コロナ禍が続いているので、今後大幅に活用を増やすことは難しい。しかし、地域人材を学習のどの場面で活用するかを学年の実態に応じて精選し、少しずつ数値が増えていくような取組をしていきたい。



**【考察及び対策】**

○保護者は0.17ポイント、教職員は0.29ポイントと数値が共に上がった。児童は昨年度と同等の高評価であった。コロナ禍ではあるが、授業参観、運動会の行事等で学校を開放したことが影響していると考えられる。

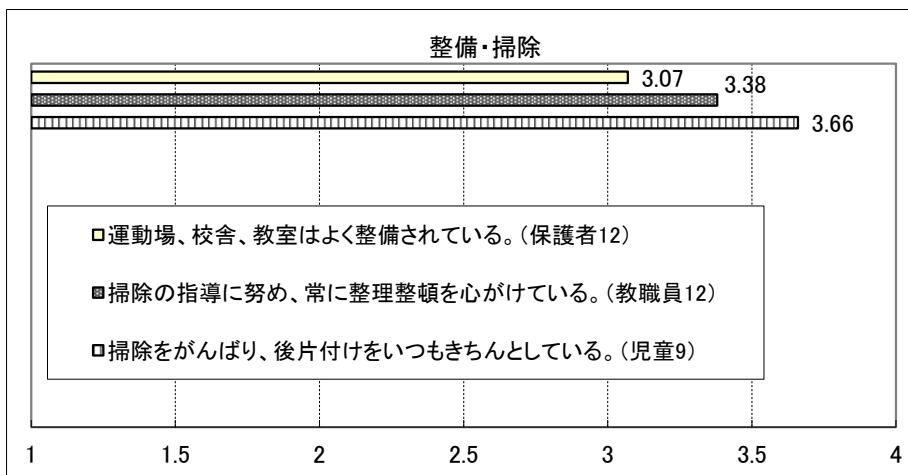
●新型コロナウイルス感染拡大防止のリスクレベルを考慮しつつ、その中でできることを工夫し、できる限りの学校開放を検討していく必要がある。



**【考察及び対策】**

○保護者の評価は昨年より上がり、教職員と児童の評価は同等であった。地域からの不審者情報やイノシシ出没等の情報に迅速に対応し、安心安全メールで丁寧に送信することを心掛けてきた。地域の方々の登下校における安全指導等の協力も考慮されていると考えられる。

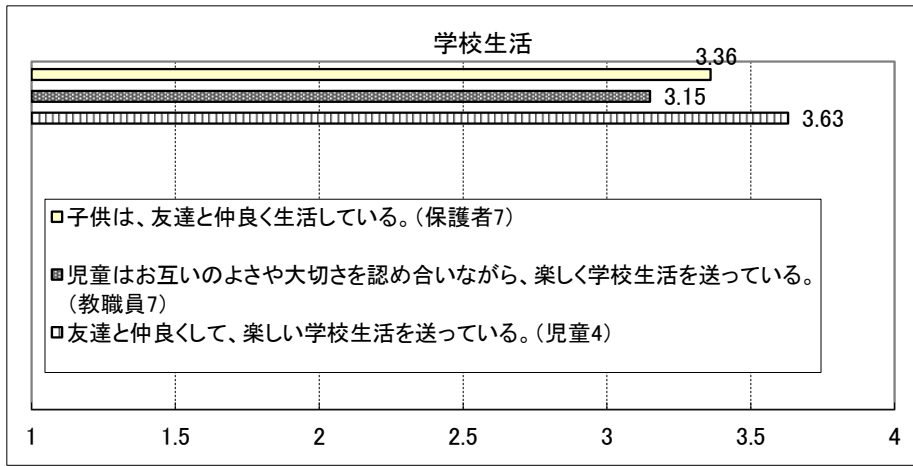
●今年度、地域・家庭の協力で大きな事故は起こっていない。児童の安全確保と安全指導を危機管理意識を持って確実に言い、保護者にも指導状況を伝えていきたい。



**【考察及び対策】**

○運動場、校舎、教室等の整備については保護者の評価が0.08ポイント、教職員の評価が0.05ポイント上がった。児童の評価については、同等である。

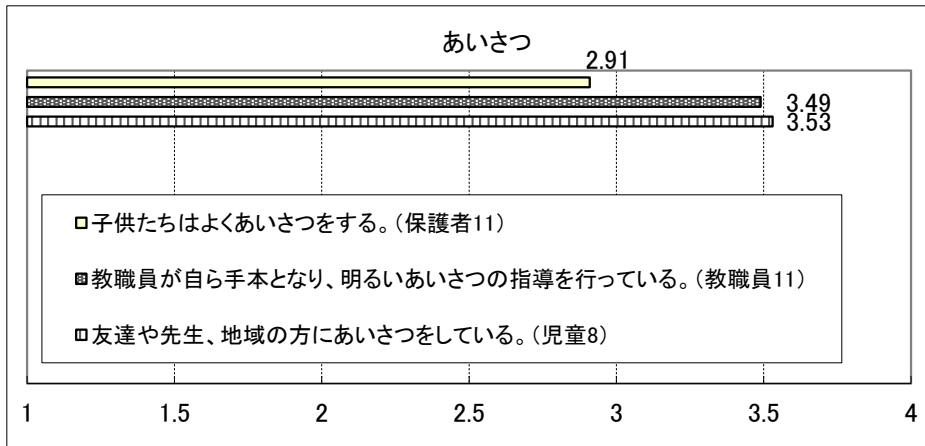
●それぞれ高い評価をいただいているので、教室や体育館、トイレの掃除等の指導を更に徹底したり、教職員も児童と一緒に掃除を行ったりするなど、地道な取組を今後も継続していきたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者、児童の評価は昨年度を上回る高い評価であった。教職員の評価が0.03ポイント下回ったのは、夏の猛暑やコロナウイルスの影響で、昼休みの活用が有効にできなかったことも影響したと考えられる。

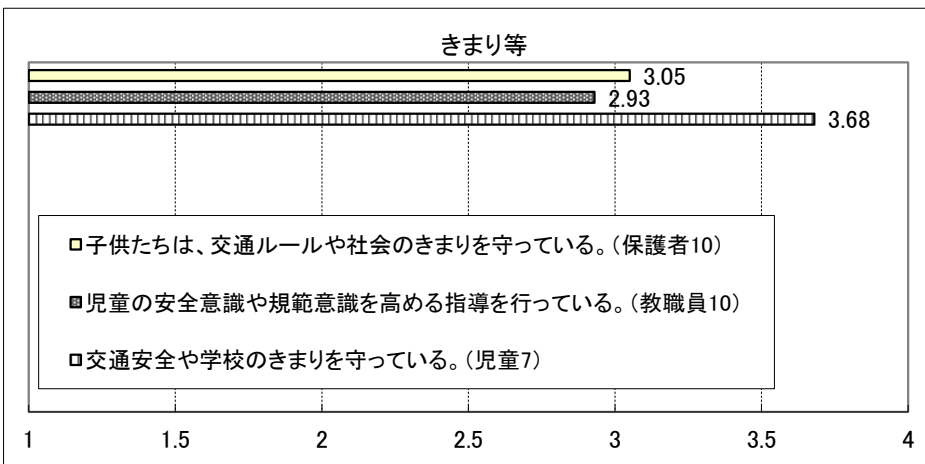
●児童と保護者および教職員の評価ポイントから見ると、比較的楽しい学校生活を送ることができているようである。今後も子供たちと共に行う活動の中で、児童理解に努めたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者・教職員・児童共に評価が昨年度を少しずつ上回った。校内・校外共にあいさつの様子に課題があると職員は捉え、重点的な指導を継続している成果だと捉えている。

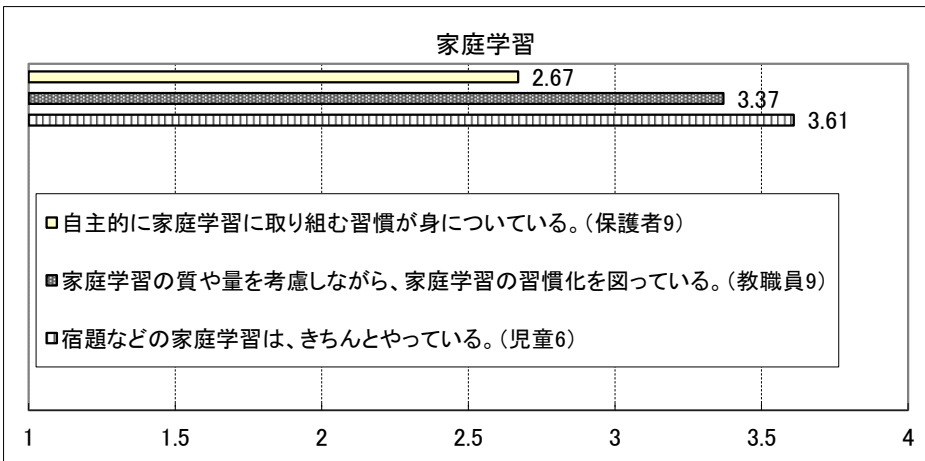
●学校の中でのあいさつが更に良くなるよう、委員会活動を中心とした手立てが必要である。また、地域でも進んで明るいあいさつができるように、今後も指導を継続していきたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者と児童の数値は昨年度と比べ少し増加し、基準である3.0ポイントを上回っている。教職員の評価は、昨年度から0.12ポイント下がっている。

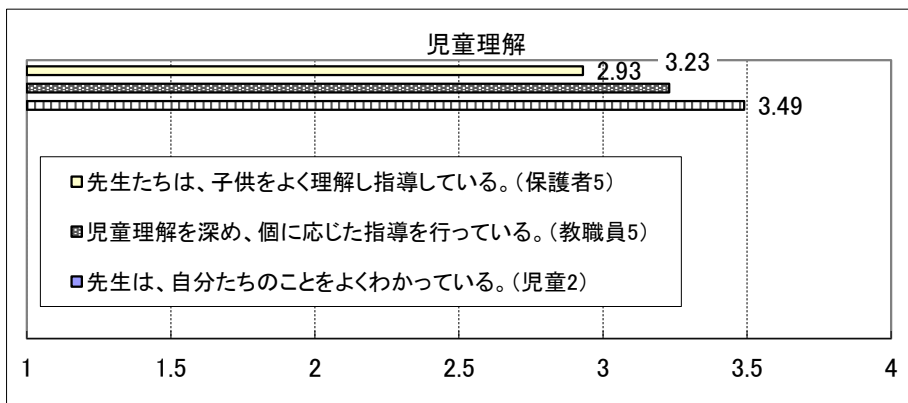
●学校生活の中で、特に気になるのは廊下歩行、トイレの使い方等である。対策を講じているものの、社会のルールや学校の決まりを守ることができるよう、今後も徹底した指導を継続的に行っていきたい。



#### 【考察及び対策】

○児童の評価は昨年度と同等であったが、保護者で0.07ポイント、教職員で0.19ポイント向上した。全体的に改善傾向であるが、保護者と他の二者の間に大きな差があるのが特徴といえる。

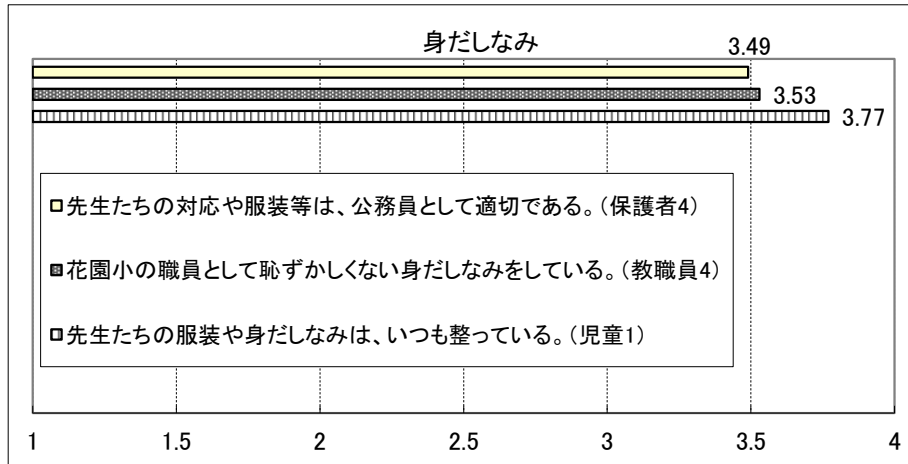
●「課せられた学習」から、「自主的な学習」への転換が学年の発達段階に応じて望まれる。児童が提出した宿題に対する担任等の見届けを確実にし、家庭と連携した取組を充実させていきたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者が0.03ポイント上昇し、教職員が0.1ポイント下降した。これによって、両者の意識の差が小さくなった。児童の評価はとても高く、「よくわかっている」と思っているようだ。

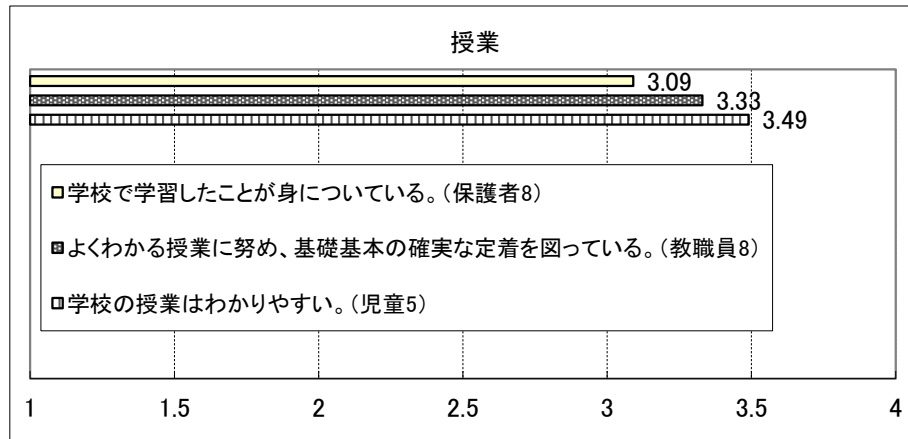
●今後も、日々の学校生活や教育相談等で信頼関係をさらに構築し、児童一人一人に寄り添い理解を深め、個に応じた指導を充実させていきたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者、教職員、児童の三者共に3.0ポイントを大きく超えており、公務員として、時と場所を考えた服装を心掛けていることが評価につながったと思われる。

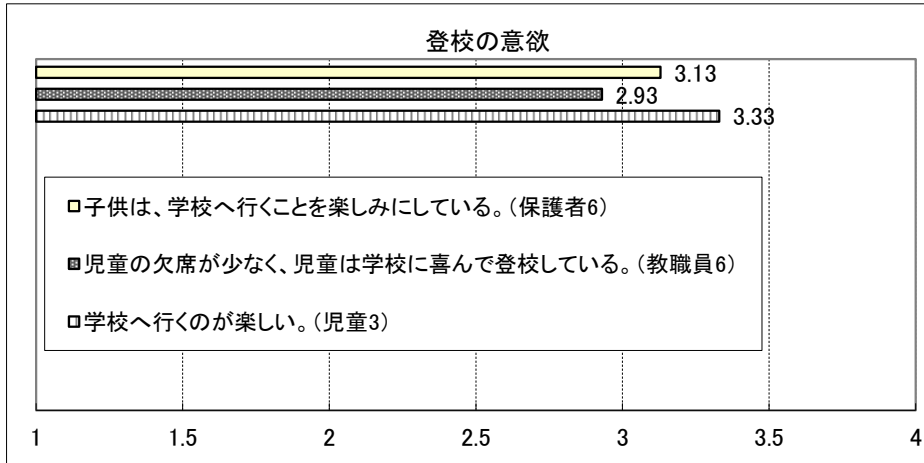
●保護者、児童の評価が高まったのに対し、教職員の評価はやや下がっている。今後は、更に公務員としての自覚と自信を持って、服装や身だしなみを整え、教育実践の内容を高めていきたい。



#### 【考察及び対策】

○保護者で0.13ポイント、教職員で0.1ポイント、児童で0.02ポイントと三者で昨年度を上回っている。特に児童の評価が高く、「わかる授業」に向けた授業改善が今年度も充実していたと思われる。

●基礎・基本の定着のために、授業の工夫改善、個別指導の充実がなされていると思われる。さらに、学習内容を定着させるために、『「わかった」「できた」を実感できる授業づくり』を目指す工夫を継続していきたい。



#### 【考察及び対策】

○三者共に昨年とほぼ同等であるが、若干数値が減少した。担任を中心に全職員がチームとして、児童の登校意欲の向上に向けた取組を行ってきたが、大きな成果にはつながらなかった。

●今後も、子供たちの実態把握を行い、楽しい学校づくりに向けて、全職員で共通理解、共通実践を図っていききたい。「チーム花園」として、取組を更に進めていきたい。